

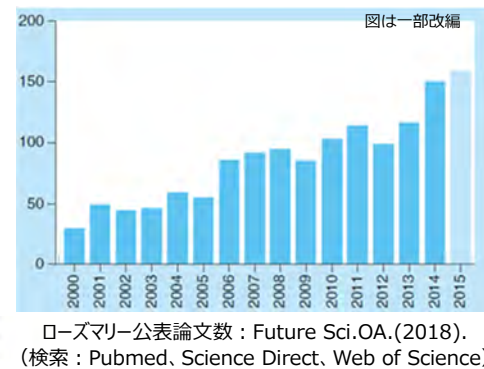
## I. 温故知新：ローズマリー 地中海沿岸原産のシソ科マンネンロウ属 古代は万能薬 現代は医薬品・化粧品・食品・添加物の多様な用途で展開

### 伝承利用

★「Rosmarinus」: 雫のような花  
⇒ラテン語「雫=Ros」と「青い海=Marinus」から命名  
古代ギリシャ、ローマ：  
万能薬、魔除け・疫病除けのお守りとして利用  
\* 強壮 \* 神経興奮 \* 消化不良時の駆風  
\* 頭痛 \* 記憶力の増強 \* 抗癌  
★14世紀ハンガリーの伝説：王妃の若返りの香水  
「ハンガリアンウォーター」  
中国：迷迭香 \* 鎮痛（主に頭痛）\* 発汗 \* 健胃  
日本：万年草 江戸時代末期に中国から渡来  
外用として傷、湿疹、リウマチ、神経痛、機能性心疾患  
や興奮性入浴剤として利用  
その他、殺虫剤、ワインの原料、香水、食品保存の抗菌  
酸化防止剤として利用

### 多様な公定書に記載

1985 Kommission E： 医薬（内服・外用）  
1998 厚労省 天然香料基原物リスト： 添加物（着香料）  
2003 ESCOP： 医薬（内服・外用）  
内服：肝・胆機能および消化不良の改善  
外用：リウマチおよび末梢循環不全治療の補助、傷の治癒促進、消毒  
2006 厚労省 医薬部外品原料規格： 部外品添加物  
2010 EMA・同評価レポート： 医薬（内服・外用）  
2013 欧州薬局方： 生薬原料規格  
2014 厚労省 既存食品添加物名簿： 酸化防止剤



### ◆ 有効性の検証 ● その他

- ◆2011 薬学雑誌：アトピー性皮膚炎発症ラットにローズマリー-エタノール溶液を7週間塗布。皮膚症状の有意な改善、経皮水分蒸散量の抑制および掻破痕が認められる個体数が少なくなることが確認された。
- ◆2013 Sci. Pharm.：ヒト試験 健康者 ローズマリー精油を吸入したところ、血圧、心拍数、呼吸数が上昇。気分が活性化されリフレッシュ感が高まり、眠気が弱まること確認された。脳波検査でα1、α2波の減少とβ波の出現が認められた。集中力と脳および自律神経の活性化が示唆された。
- ◆2013 Food Chem. Toxicol.：ラットにローズマリー抽出物を経口投与した後、エタノールで胃潰瘍を惹起。ローズマリーは潰瘍性出血の抑制と胃障害を有意に改善した。胃細胞の脂質過酸化マーカーの低下、グルタチオン/酸化型グルタチオン比および活性酸素分解酵素の誘導が認められ、抗酸化、抗炎症による胃粘膜保護作用が報告された。
- ◆2017 BMC Complement Alternat. Med.：マウスに慢性ストレスを惹起した後、Carnosolを21日間腹腔内投与した。Carnosolは強制遊泳試験でラットの自発運動を増加し、脳内コルチコステロン濃度を低下することが確認された。また脂質過酸化マーカーの低下、グルタチオン濃度の増加、活性酸素分解酵素の活性促進が認められた。慢性ストレスに対して海馬での酸化反応を阻害し脳神経を保護することが示唆された。
- ◆2018 Future Aci.OA.：レビュー ローズマリーは癌、感染症、うつ病、アルツハイマー病、パーキンソン病などの治療と予防に有望な素材であるが、さらに信頼性の高い臨床試験による安全性と有効性の評価が必要である。
- 2018 Phytolab 分析標準品一覧： Rosmarinic acid, Carnosic acid 等 34品目の分析用標準品を収載

## II. 学術、海外のハーブ医薬品・食品についての情報

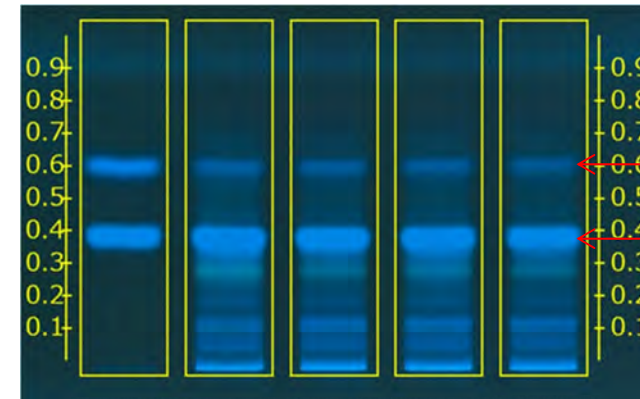
### 文献情報アップデート：メリッサ（1）、エキナセアプルプレア（1）

- 1) PMS症状の緩和に対する植物療法（アグニ、西洋オトギリソウ、カミツレ、メリッサ葉、バレリアナ含む）の有効性および安全性に対するシステマティック・レビュー 2018年4月  
“The effectiveness and safety of Iranian herbal medicines for treatment of premenstrual syndrome: A systematic review” AJP, 8(2) 2018
- 2) エキナセアプルプレアの拘束ストレス負荷による免疫抑制に対する防御作用（マウス試験）2018年3月  
“Echinacea pupurea protects against restraint stress-induced immunosuppression in BALB/c mice.” J. Med. Food 21(3) 261-269 (2-18)※EFLA894

## III. 製品情報：ローズマリー乾燥エキス

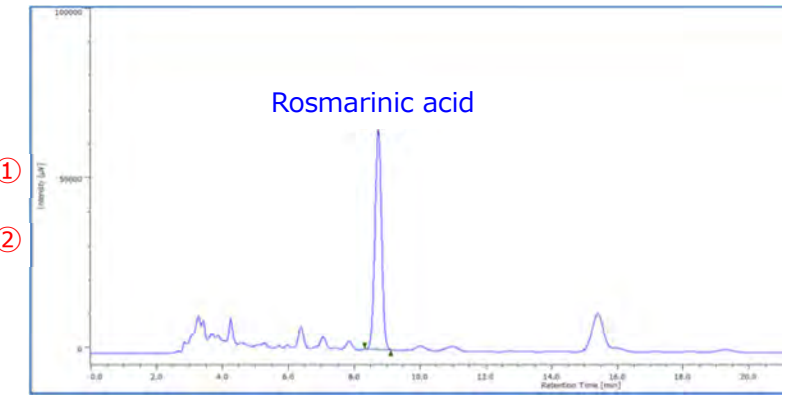
### 1. 多成分系エキスの品質保証：定性と定量結果（品質管理 丸山）

#### ◆HPTLC：成分パターンと定性分析



標準品※ ロットA ロットB ロットC ロットD  
※標準品①Caffeic acid、②Rosmarinic acid  
ローズマリー乾燥エキス ロットA、B、C、D  
の成分パターンを確認しています。

#### ◆HPLC：成分 Rosmarinic acid の定量分析



成分 Rosmarinic acid をバッチ毎に定量を実施しています。

## IV. ワークライフバランス：行徳常夜灯⇒十四の旧国府⇒琉球王府 旧国府と古人の足跡を辿ることで見つけたもの：歴史を繋ぐ塩と旧街道

★ 塩：「歴史を動かした小さな粒※」 ※Salt M.Kurlansky 著 山本光伸訳のタイトル  
**行徳常夜灯** 行徳塩 「塩は軍用第一の品 領内一番の宝である（家康公）」の積出し地 ----  
**下総** 野田醤油と行徳塩----**常陸** 日本最古の塩作り(縄文時代)----**越後** 謙信公の情けの塩----  
**武蔵** くらやみ祭りの命を繋ぐ塩----**相模** 塩田（塩の交換所）----**駿河** 家康公の食卓の塩----  
**三河** 吉良の饗庭塩--**尾張** 京の東寺を支えた「生道の塩」--**美濃** 二度の天下分け目(壬申の乱/関ヶ原)--  
**越前** 天皇の命を救った角鹿(敦賀)の塩--**紀伊** 三葛(みかずら)の塩 金毘羅宮の常夜灯 中津川船で運ぶ  
**土佐** 物部のご神体を運ぶ塩の道----**伊豫** 芸予諸島 伯方島の塩----**琉球王府** シマ・マース（島の塩）

### ★ 二十四の旧街道：歴史を残す道

**行徳常夜灯** 江戸日本橋、成田山詣でへの出発地→

**下総** 江戸川、利根川、水戸街道→

**常陸** 瀬戸井街道、利根川、三国街道、松之山街道(上杉軍道)→

**越後** 飯山街道(上杉謙信道)、北国街道、中山道、府中通り大山道→

**武蔵** 鎌倉街道、旧東海道 →**相模** 矢倉沢往還→

**駿河** 駿河街道→**三河** 駿河街道→

**尾張** 吉例街道(美濃路)→**美濃** 越前街道→

**越前** 北陸道、塩津街道（敦賀/角鹿から京への塩の道）→

**紀伊** 和歌山街道、南海道、撫養街道、祖谷街道→

**土佐** 土佐北街道、讃岐街道、今治街道→

**伊豫** 周防灘、日向灘、大隅海峡、国頭方西街道→

**琉球王府**



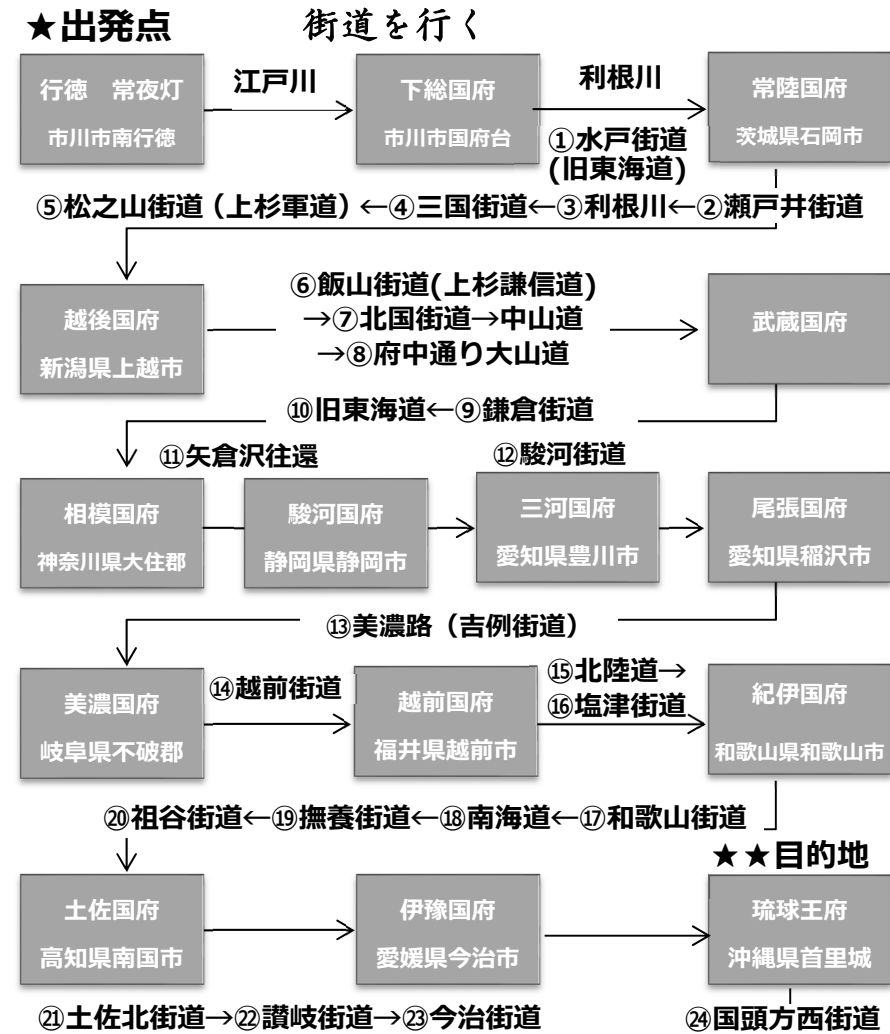
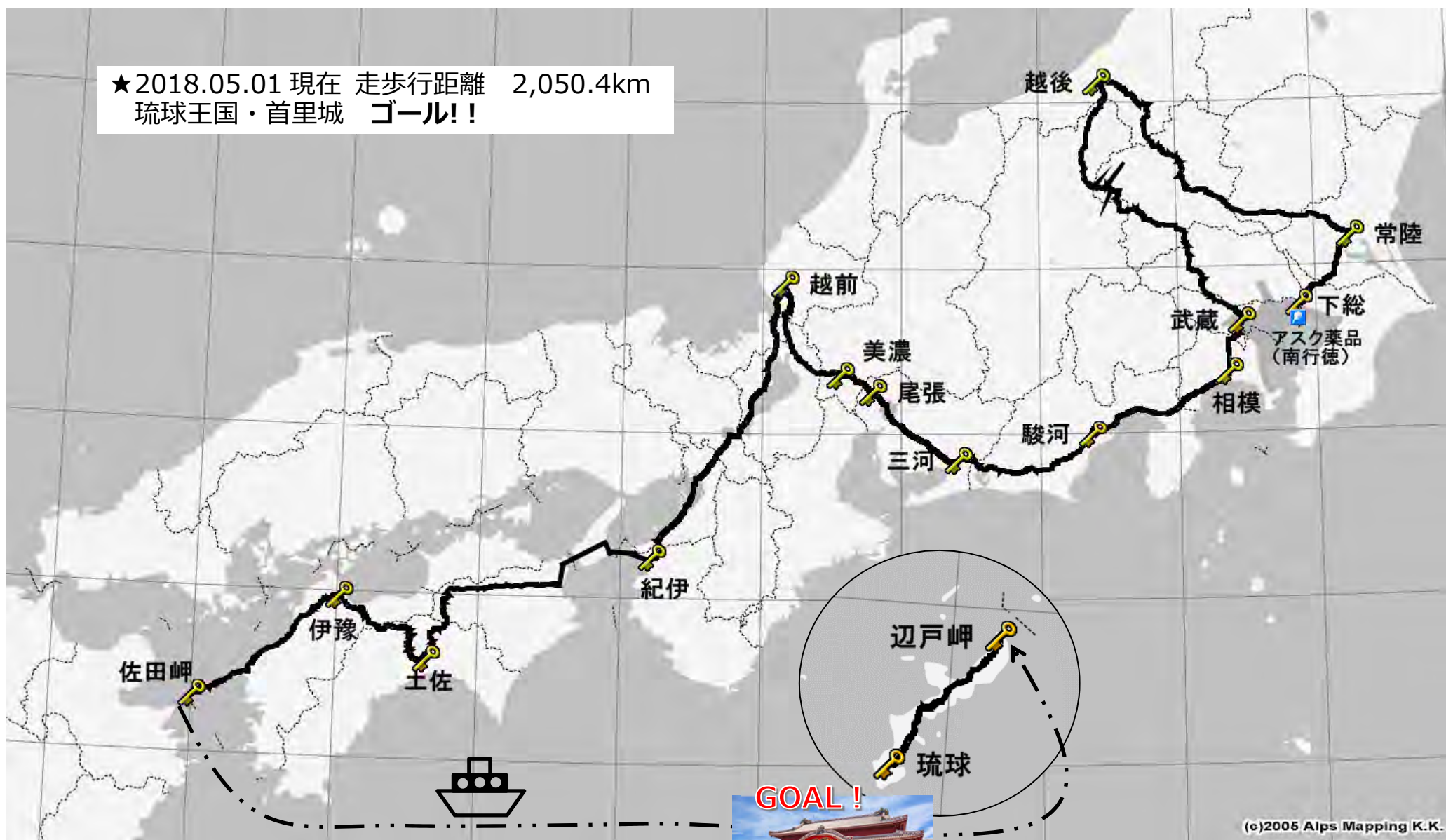
行徳常夜灯



社員全員参加で取り組んでいます！ 空き時間(昼休み・終業後等)を利用した歩みでできること：距離と気づき (2017年5月～2018年4月)

★行徳 常夜灯 (市川市本行徳) を出発点とし、社員の出身地の国府巡り、★★首里城 (那覇市首里) を目的地とする歩み (延べ 2,050.4 km)

★★★到達点 気づき「古人の跡を求めず古人の求めし所を求めよ」： 故郷への想いと新たな気づき



★★★到達点：「歴史を繋ぐ塩と旧街道」

先人の足跡を辿ることで、なぜそのようなことが引き継がれてきたのか、先人が何を見、聞き、嗅ぎ、食べ、触れ、考えたのか、足跡の先に何を求めていたのかを自らの歩みに想像する。

★ 琉球：首里城と各間切 (まぎり：現在の市町村) を結ぶ街道  
琉球王朝時代に整備された、首里城と各間切を結ぶ主要街道を宿道 (しゆくみち) と言います。政治的にも、また庶民の陸上交通においても、主要な道でした。  
[http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/yan\\_koku/00monogatari/index.html](http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/yan_koku/00monogatari/index.html)  
国頭方西街道(くにがみほうせいかいどう)：宿道の1つで国頭から名護そして読谷を結ぶ街道。現在の国道58号線にほぼ重なる。文化庁の「歴史の道百選」の1つ。

- ★ 琉球王府・首里城：首里城正殿へと続く道のりと5つの門  
正殿を中心とした広大な国営公園。二層三階建て、装飾化した龍柱を特徴とする中国と日本の築城文化を融合した琉球独特の建築様式。2000年、世界遺産に登録。
- ① 守礼門 2,000円札紙幣の絵柄に採用された門  
門に刻まれている「守礼之邦」とは琉球は礼節を重んずる国である。という意味を表す。
  - ② 園比嘉武御嶽石門(そのひゃんうたきいしもん) 2000年 世界遺産登録  
国王が外出するときに安全祈願をした礼拝所。神への「礼拝の門」。
  - ③ 歓会門 歓迎するという意味の通り、首里城の城郭内へ入る第一の正門
  - ④ 瑞泉門 「立派な、めでたい泉」手前右側にある湧水「龍樋」にちなんでいる第二の門
  - ⑤ 漏刻門 中国語で「水時計」門の上の檣に水槽を設置、時計を計った第三の門



★ 沖縄の塩「シマ・マース (島の塩)」  
1694 本格的な製塩の開始：サンゴ礁を育む美しい海水を取水し、煮詰める製法が主流  
那覇の泊付近にある広大な干潟(潟原 かたばる)で、那覇の農民が薩摩藩から製塩法を学び生産を開始。農民はこの功績で「塩浜」という名と土族の身分を与えられる。  
1972 塩の専売制に伴う塩業整備臨時措置法により、沖縄各地の塩田が閉鎖。  
1997 専売制の撤廃と塩の自由化：今では、30か所以上の製塩所で100種類を超える塩の生産が行われています。

★ 沖縄の海水料理

- 魚のマース煮： 古くは漁師が海で釣った魚をその場で海水を使い煮込んで作ったのが始まりとも言われている伝統料理。
- 海水スープ： 与那国島では海水を使ったスープの記録があります。(500年前)
- 島豆腐： にがりではなく海水を入れて固めていました。
- 大東そば： 南大東の海洋深層水と亜熱帯植物で作った灰汁の上澄みを練り込んだ麺が特徴。